

こまき市民討議会 まちづくりミーティング 2023

- 実施報告書 -

令和5年12月

(主催)

一般社団法人小牧青年会議所

ファシリテーターの会

小 牧 市

(協力)

こまき市民討議会実行委員会

目次

1 はじめに	1
2 事業概要	2
(1)報告書	
(2)市民討議会とは	
(3)こまき市民討議会の開催経緯	
(4)開催までの流れ	
(5)開催の概要	
3 話し合いの進め方	5
4 話し合いの結果	7
(1)話し合いの概要	
5 意見のまとめ・取扱い等について	16
6 今回の反省と今後への課題	17
(1)無作為抽出による参加者募集について	
(2)「楽しい市民討議会」について	
(3)運営体制について	
(4)今後の市民討議会のあり方について	
7 こまき市民討議会を終えて	20
8 会場の様子	22

➤ アンケート集計結果

1 はじめに

2012年から開催されている「こまき市民討議会 まちづくりミーティング」も今回で12回目を迎えることが出来ました。これも、2012年からともに市民討議会を開催してくださいました小牧市支え合い協働推進課、2019年から主催者としてご参画くださいましたファシリテーターの会、そして市民討議会実行委員の皆様のご理解とご協力あればこそであり、本事業に携わってくださった皆様には、心より感謝申し上げます。

こまき市民討議会まちづくりミーティングは、まちづくりへの市民参画の機会を増やし、自分たちのまちは自分たちで良くしていこうという住民自治意識の醸成を図ることで、普段は行政やまちづくりに対して声を上げる機会の少ない皆様にまちづくりを身近に感じてもらい、まちづくりや市政について関心を高めるきっかけとなっていると感じております。

本年度は、「20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～」をテーマに、まちの課題に対して自分たちに何ができるのかなどについて討議をしていただきました。多くの方々にご参加くださり、幅広い世代の方々に、気軽に、楽しく、中身濃く、討議をしていただくことが出来ました。

実行委員会は、過去に実行委員を経験された市民の方々が立ち上げたファシリテーターの会、そして討議会に参加していただいた有志の市民によって構成されています。本年の実行委員会の皆様には、企画から準備、当日の運営までご協力をいただきました。ぜひ今後も、市民による、自立した討議会の運営を続けていただければ幸いに存じます。

今回、こまき市民討議会まちづくりミーティング2023を無事に開催することができたのは、実行委員の皆様、ファシリテーターの会の皆様、そして小牧市支え合い協働推進課の皆様のおかげです。そして、何よりも、この市民討議会にご参加いただきました市民の皆様に厚く感謝申し上げます。ありがとうございました。

一般社団法人小牧青年会議所
副理事長兼室長 梅澤 侑未

2 事業概要

(1)報告書

本報告書は、一般社団法人小牧青年会議所、ファシリテーターの会と小牧市が締結した「こまき市民討議会まちづくりミーティング2023の実施に関する協定書」に基づき、こまき市民討議会の内容及びその手法について、一般社団法人小牧青年会議所がまとめたものです。

(2)市民討議会とは

市民討議会は、ドイツなどで取り入れられている市民参加の手法「プランクスツェレ（計画細胞）」をアレンジしたもので、無作為抽出で選ばれた市民がまちづくりの課題などについて話し合い、そこで出された意見や提言をまとめ、課題解決へ生かす新しい市民参加の手法です。

これまで市政やまちづくりに声を届ける機会の少なかったサイレントマジョリティー＝「物言わぬ大勢」と言われる市民の参加を促し、その「声なき声」をまちづくりに反映させる手法として活用されています。

こまき市民討議会ではこの手法をもとに、無作為抽出で選ばれた市民が、地域の課題・解決策について話し合ってもらい、まちづくりに参画するきっかけとなることを目的としています。

今回の市民討議会の特徴

- ・無作為抽出した16歳から59歳までの小牧市在住の市民へ参加案内
- ・「20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～」というテーマについて討議をするため市民討議会についての説明を一般社団法人小牧青年会議所が行います。
- ・グループで討議したまとめに対し、グループごとに発表をします。

(3)こまき市民討議会の開催経緯

こまき市民討議会は、市民がまちづくりに参加する新しい試みとして一般社団法人小牧青年会議所が市へ企画提案したもので、市民がまちづくりについてお互いに課題を共有し、自分たちに何ができるかを話し合うことでまちづくりに関心を持っていただくことを目的とし、平成24年度に市との協働によって第1回が開催されました。

(4)開催までの流れ

◆令和5年4月10日 協定締結

開催に向けて、一般社団法人小牧青年会議所、小牧市、ファシリテーターの会の三者において「こまき市民討議会まちづくりミーティング2023の実施に関する協定」を締結しました。

この協定は、市民討議会の実施について三者の関係や役割、相互協力の内容を定めたものです。

◆令和5年8月10日 参加案内発送

小牧市において無作為に抽出した16歳から59歳の小牧市在住者3,500人に参加案内を発送し、ご参加いただけるよう呼びかけました。

その結果、定員約40人に対し40人の方から参加承諾をいただくことができました。

◆令和5年9月21日 参加決定通知発送

参加者40人を決定し、参加決定通知を発送しました。

その後の辞退者もあり、当日は31人の参加となりました。

(5)開催の概要

ア 日時

令和5年10月14日(土) 10:00～16:00

イ 会場

小牧市公民館 講堂 (小牧市小牧二丁目107番地)

ウ タイムスケジュール

9:30～10:00 受付

10:00～10:20 理事長挨拶・市長挨拶・委員長挨拶

10:20～11:00 市民討議会説明・自己紹介・アイスブレイク

11:00～13:05 討議・昼休み

13:05～15:25 アイスブレイク・討議・発表

15:30 閉会

エ 討議テーマ

20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～

オ 運営体制

主催 一般社団法人小牧青年会議所・ファシリテーターの会・小牧市

協力 こまき市民討議会実行委員会

本年度も「こまき市民討議会実行委員会」を立ち上げ、昨年度の市民討議会の参加者と実行委員から募集を行い、14人の方に承諾いただきました。6月より5回実行委員会を開催し、アイスブレイク、進行の方法等様々なご意見をいただきました。

また、討議会当日の受付からメインファシリテーター、テーブルファシリテーターまで全てにおいて実行委員に運営していただき、企画から当日まで自主性を持ってご協力いただきました。

3 話し合いの進め方

◆今回のテーマ等

本年度は、「20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～」をテーマとして、まちの良いところ、現状の課題、そして自分たちでできることを考えていただきました。

本年も市民で構成される実行委員会が立ち上がり、企画、準備から当日の運営に至るまで携わっていただき、当日は非常に良い雰囲気で行えたと感じております。



◆スタッフの配置

会場全体の進行役と討議会参加者の意見を引き出す支援者としてメインファシリテーター2名、テーブルファシリテーターを各グループに1名～2名配置し、和やかな雰囲気の中で話し合いができるよう工夫し、実行委員の方々に担当していただきました。



◆アイスブレイク

討議前に会場の雰囲気づくりや、ファシリテーターに注目していただくことを意図して、アイスブレイクを行いました。

午前のアイスブレイクでは、付箋に5文字又は7文字の語句を書き、つなげて川柳を作るという「言葉でつなぐ小牧川柳」を行い、発表していただきました。午後のアイスブレイクでは脳トレ体操を行い、体をほぐしていただきました。

◆会場設営と服装

開催日が10月ということもありハロウィンの装飾をしました。また、実行委員会の方には全員お揃いのTシャツを着ていただきました。リラックスして話ができるようにたくさんのお菓子と飲み物を用意し、自由につまみながら話し合いをしていただきました。

◆具体的な進め方

ア グループのメンバー

1グループ3名から5名の一般参加者、1名から2名のテーブルファシリテーター、そして一般社団法人小牧青年会議所メンバーで7グループ作り、テーマについて討議していただきました。

イ 話し合いの進め方

テーマに沿って、自分の意見をできるだけ多く付箋に書き出し、それを大きな模造紙に貼っていきました。

書き出された意見をもとに、話し合いを通して意見をグルーピングしていき、合意形成を図りました。

ウ 発表

グループの話し合いの結果を、決められた時間で発表していただきました。

◆情報提供

参加者に自由な発想で意見を出してほしいという意図で情報提供は行いませんでした。

4 話し合いの結果

午前の部：「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」

午後の部：「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」

午前の部では、「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」はなにか話し合い、似ている意見を分類し、後半にそれぞれの分類でさらに深掘して「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」について意見を出し、20年後のこまきのために自分たちで何が出来るかについて話し合いをしていただきました。また、最後にグループごとにどんな話が出たのかまとめて、発表していただきました。

(1) 話し合いの概要

【グループ名】	加藤さん、東本さん、大島さん、高橋さん
こまきこども未来館	ファシリテーター 吉田さん、高橋さん 小牧青年会議所メンバー 和田君
「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館や病院等の施設がきれいで充実している ● 病院が少ない ● 道路がきれい ● 雑草がよく生える ● ゴミの分別がしっかりしている ● 資源回収ステーションが分かりづらい ● 自然や緑が多い ● 災害が少ない ● 特産物がある ● 商店街の認知度が低い ● 知名度が低い ● 大きい会社がたくさんある ● 働く場所がたくさんある ● 市議会議員が20代から70代まで幅広くいる ● 水道代が安い ● まちの人があたたかい ● 交通アクセスが不便 ● 終電が早い ● 空港が近い ● 車の交通が便利 ● バスが不便
「さらに良くす	■ 大規模なゴミ拾い

<p>るには、どうしたら良くなるか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 家庭内でのゴミの分別を徹底する ■ ゴミのリサイクルリユース ■ インスタ映えスポットを作る ■ P R 動画を作る ■ こまきのイベントに参加する ■ ボランティアに参加する ■ こまきの名物や良いところを SNS で発信する ■ 名古屋から来たと言わずに、小牧から来たと言う ■ 施設や制度を周知できる工夫を行う ■ まちの M A P を作る ■ 車が無くて生活できる仕組みを作る ■ レンタルサイクルの活用 ■ 自転車や電車で移動する
<p>「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」</p>	<p>小牧の良いところのインスタ映えスポットを作り P R する</p>

<p>【グループ名】 パークアリーナ 小牧</p>	<p>片山さん、川口さん、河合さん、御手洗さん、黒川さん ファシリテーター 河村さん、青葉さん 小牧青年会議所メンバー 水落君</p>
<p>「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● あいさつがない ● 近所づきあいがない ● 道の雑草が多い ● 町内行事が多すぎる ● バスの表示が分かりにくい ● 渋滞が多い ● 自然が多い ● 中心地の駐車場が少ない ● 車がないと生活するのが難しい ● 働く場所が多い ● ゴミの分別ができていない ● 小牧の魅力を知らない人が多い ● 病院がたくさんある

	<ul style="list-style-type: none"> ● 移住者への保障が手厚い ● 子育てがしやすい ● 珍しい祭りがある ● 自然災害が少ない ● 四季の森が無料 ● 遊べる公園が多い ● 図書館等の施設がきれい ● 勉強できるスペースが多い ● 桃、コーチン、しるこサンド ● 高齢者の施設が充実している ● こども未来館がある
「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」	<ul style="list-style-type: none"> ■ あいさつをしっかりする ■ 公共交通機関を使う ■ 夜のパトロール ■ ボランティアに参加する ■ ゴミの分別をしっかりする ■ イベントカレンダー作成 ■ 学校ごとに授業の一環でPRホームページ等を作る ■ 夜に騒がない ■ 誰にでも伝わる情報発信 ■ オアシスを盛り上げる ■ 地域の行事に参加する ■ 地域のつながりを大切にする
「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」	情報発信に工夫する

【グループ名】	神戸さん、柴田さん、中村さん、森田さん
れきしるこまき	ファシリテーター 水野さん、伊藤さん
「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 小牧山がある ● 信長、家康と縁がある ● ワイアンドットとのホームステイ ● こまくるがある

	<ul style="list-style-type: none"> ● 図書館が立派 ● メナード美術館がある ● メナード美術館のPR ● 市民病院が綺麗 ● 自然が多い ● 公園が多い ● 自転車ロードの整備 ● インターがあり交通の便は良いが渋滞が多い ● 避難所のキャパが足りない ● 住宅地、工場地、緑地のすみ分け ● 薬局やスーパーに停まるバス停を増やす
「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」	<ul style="list-style-type: none"> ■ SNSに写真を載せる ■ 小牧山に行く ■ ゴミ拾い ■ 小牧山清掃のボランティアを市民で行う ■ 自宅をホームステイ先として手を挙げる ■ 図書館での企画を募集する ■ パトロールを行う ■ メナード美術館の良さを人に伝える ■ 市民討議会のようなミーティング、イベントに参加する ■ バスを使う ■ 自転車を使う
「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」	地域交流を活発にする

【グループ名】 市民会館	猿渡さん、秦さん、西谷さん、坂さん、丸山さん ファシリテーター 青山さん 小牧青年会議所メンバー 諸岡君
「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 交通アクセスが悪い ● こまくるの数が少ない ● 高速道路へのアクセスが良い ● 渋滞が多い

	<ul style="list-style-type: none"> ● 桃花台が不便 ● まちのポテンシャルはあるのに活かされていない ● イベントが多い ● 特産品がどれも美味しい ● 各駅近辺に飲食店が少ない ● クリエイティブな活動の後押しが弱い ● 高齢者施設の料金が高く年金で賄えない ● 部活がなくなってきた ● 通学ボランティアのおかげで安全に通学できる ● 特産品を増やす ● 子どもの数が少ない ● 子育てへの制度が充実している ● 岩崎山の5枚岩の歴史がある ● 自然が豊か ● 小牧山のランコース ● 施設が充実 ● 色んな世代の地域とのつながり ● ハイウェイオアシスで桃花台が良くなってきている ● 色んな人と交流できる場所があったらいい
<p>「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車で移動する ■ こまくるを利用する ■ サイクリングロードを創設 ■ 子どもを育てるボランティア ■ 学校等で子ども達と20年後の小牧について考える ■ 市外の友人に小牧の特産品を紹介する ■ 観光マップの作成 ■ 小牧ならではのテーマパークを作る ■ あいさつをする ■ コミュニケーションをとる ■ 近所の人と交流 ■ SNSで意見交換 ■ 心、体の健康を心がける ■ 小牧山にトレーニングランを作る ■ 施設を大切に使う

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 活性化のために外食をする ■ 地区の活動に若者を巻き込む ■ ごみを増やさずにリサイクルする ■ 自分たちで花木を植える
「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」	地域のつながりを広げ多世代交流をするためにあいさつをする

<p>【グループ名】 市民四季の森</p>	<p>落合さん、古澤さん、根本さん、吉田さん ファシリテーター 立川さん 小牧青年会議所メンバー 加藤君、小森君、願念君</p>
「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 活気がすくない ● 商業しづらい ● 観光客が少ない ● 企業がたくさんある ● ラーメン屋が多い ● コモパンがある ● ボランティアが子どもの通学を見てくれる ● 子ども会の活動が区や地域に縛られる ● 学校の先生たちへの支援 ● 不登校の子どもへの教育支援 ● シニア世代向けの活動がある ● バスが充実 ● こまくるの巡回がわかりづらい ● 名古屋空港が近い ● ほどよく都会、ほどよく田舎 ● 閑静 ● 市のアプリが充実している ● 名古屋へのアクセスが悪い ● 高速道路へのアクセスが良い ● 渋滞が多い ● 車がないと不便 ● スポーツ施設の充実

	<ul style="list-style-type: none"> ● こども未来館がある ● 小牧山がある ● 自然が多い ● 特産品がある ● スーパーが多い ● 図書館が綺麗 ● 歴史がある ● 駅前のロータリーに車が止めれないので送迎が不便 ● 小牧駅周辺が暗い ● 小牧駅周辺に店が少ない ● 外国にルーツのある親子の支援
「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 自転車を使う ■ こまくるの路線図だけでなく利用パターンを作る ■ 共通のハッシュタグでインスタを上げる ■ SNS でイベントや店、特産品の P R ■ 小牧市内のお店でスタンプラリー ■ 特産物で新しい商品を作り若い世代を巻き込む ■ 小牧山の歴史を伝える ■ イベントに参加する ■ あいさつ運動
「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」	SNS で小牧の良いところを発信する

【グループ名】 小牧山	近藤さん、中西さん、倉知さん、尾崎さん ファシリテーター 犬走さん、稲垣さん 小牧青年会議所メンバー 佐藤君、大野君
「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 地盤がいい ● こまくるの本数が少ない ● 車がないと不便 ● 空港が近い ● 自然が多い ● 施設が綺麗

	<ul style="list-style-type: none"> ● 小牧城がある ● 歴史がある ● こども未来館がある ● 駅周辺に店がない ● 駅前に飲食有名店を呼び込む ● 高校生、大学生が遊ぶ場所がない ● 名産のPRが足りない ● 外国人が多い
「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」	<ul style="list-style-type: none"> ■ 好きなもので繋がる場所を作る ■ 施設を大切に使う ■ 子どもを地域みんなで育てる ■ 行政への関心を高める ■ 外国語の勉強 ■ 地域活動に若者が参加する ■ 口コミを広げる ■ 年配の方へ話を聞く機会を作る ■ 名産品をまずは自分たちが知る ■ 話題性のあるものを発信する ■ 小牧ブランド、付加価値を高める ■ 農業の後継者問題を解決し特産物がなくならないようにする
「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」	自分たちで知って、動いて、感動して、伝えていく

【グループ名】 小牧市中央図書館	有本さん、長谷川さん、川名さん、吉川さん、江口さん ファシリテーター 平手さん 小牧青年会議所メンバー 志村君
「こまきの良いところ、改善したほうが良いところ」	<ul style="list-style-type: none"> ● 小牧山 ● 子育て支援が充実 ● 駅付近の飲食店が少ない ● 自然が多い ● 高速バスが便利 ● 桃

	<ul style="list-style-type: none"> ● コーチン ● 企業に小牧市民を雇ってもらう ● 小牧線の料金が安い ● 駅付近の駐車場が少ない ● 無人タクシー、無人バス ● コミュニティバスの終バスが早い ● 市民だけ Wi-Fi 無料 ● 祭りが多い ● マルシェがある ● シティマラソンが優先的に走れる ● 病院が綺麗 ● 小牧の発信が伝わっていない
<p>「さらに良くするには、どうしたら良くなるか」</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ IT 技術の勉強会をやる ■ シェアリングサービスを学ぶ ■ 集まる場所を増やす ■ 市民が発信できる SNS を作る ■ 空き家を使う ■ 教える人と教わりたい人のマッチング ■ 小牧の愛情を育ませる ■ 発信して活発なまちにする
<p>「20年後のこまきを良くするために自分たちでできること」</p>	<p>SNS コミュニティを活性化させます</p>

5 意見のまとめ・取扱い等について

今回の市民討議会では参加していただいた市民の皆様「20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～」というテーマについて討議をしていただくことを通して、自分達ができることを考えていただき、住民自治意識の醸成を図りました。

午前の部では「小牧の良いところ、好きなところ、改善した方が良いところ」は何かについて、午後の部では参加者が自ら出た意見を分類し、その分類ごとにさらに深堀をし、課題解決のために自分達に何ができるのかについて考えていただきました。また、午後の部の最後には、各グループでどのような討議がなされたのか、自分たちにできることは何かを発表していただきました。今回出た意見は、未来の小牧についてどのような取り組みが必要かという点について、小牧市民の考える課題やその解決策を示した参考例として、実施報告書にまとめています。

6 今回の反省と今後への課題

討議会終了後に反省会を一般社団法人小牧青年会議所、ファシリテーターの会、小牧市支え合い協働推進課、実行委員会で行い、その結果下記のような意見が実行委員から出ました。

反省会 令和5年10月25日（水）

◎良かった点

- ・参加者の雰囲気よかった
- ・若い人の参加者が積極的に考えて的を得た意見を言ってくれた
- ・テーブルファシリテーターメモ、市民討議会の説明は討議の進行の役に立った
- ・公民館のスペースが丁度いい
- ・若い参加者が多く前向きな意見が多かった
- ・最初に目的の説明があったのではっきりしていてよかった
- ・アイスブレイクの体操が楽しくできた
- ・参加してよかった、楽しかったという参加者の感想が多かった
- ・まちについて考えるきっかけになった
- ・年齢制限は賛成

◎改善点

- ・午後からの意見出し（深堀り）に苦労した
- ・市民討議会の説明を実行委員会の最初にやるべき
- ・ファシリテーターの会の説明は討議後でもいい
- ・机のスペースが広すぎてコミュニケーションが取りづらい
- ・託児所があれば若い人の参加増員につながる
- ・テーブルファシリテーターはメインとサブで役割を決めた方がやりがいと責任感が増す
- ・休憩時間、お菓子の取り方の検討
- ・意見が採用されないことにより、参加者のモチベーションが下がる
- ・自分たちにできることについてを強調しすぎると意見が出づらい
- ・できることのフォーマットが必要
- ・時間がタイトなので時間配分の見直しが必要
- ・装飾をもっとしてもいい
- ・障がいがあっても対応できる準備が必要
- ・SDGsをもっと打ち出したほうが良い
- ・最後のまとめが似たような内容になった
- ・まとめの際、ファシリテーターが話を進めがちになってしまう

◎その他の意見

- ・小牧市のYouTubeに配信されることを当日報告した方がPRになっていい
- ・市に提言までしてもいいと思う
- ・アンケートは一般参加者のみと伝えないと、実行委員会やJCメンバーも記入してしまう

参加者へのアンケート結果を中心に、今回の市民討議会の考察と、今後への課題をまとめました。(アンケート結果の詳細については後述)

(1) 無作為抽出による参加者募集について

市民討議会の参加者募集については、共催である小牧市の協力のもと、16歳以上59歳未満の小牧市在住者3,500人を無作為抽出し、参加案内を発送しました。(※参加案内の発送に係る個人情報については市において適切に管理されています。)

募集の結果、40人から参加承諾をいただきました。その後、3人が参加辞退されたほか、当日欠席された方が6人いたため、当日は31人の参加となりました。

本年度は、テーマを考える中で参加者募集の対象年齢を引き下げることとし、例年と比べて若い世代に多く参加していただきました。

無作為抽出という方法については、参加者のアンケートでは97.3%の人が無作為抽出して案内状を送付することについて「良いと思う」との回答をしており、今後も基本的には無作為抽出を継続していくことが望ましいと考えられます。

(2) 「楽しい市民討議会」について

参加者のアンケートでは、100%の人が「楽しかった」または「まあまあ楽しかった」と回答しており、楽しい雰囲気づくりは概ね成功していたものと考えられます。

(3) 運営体制について

本年度は、ファシリテーターの会と市民討議会に参加した経験のある市民の方々によって構成された、こまき市民討議会実行委員会の皆様に、企画、準備から当日の運営まで担っていただきました。

実行委員会の構成メンバーは前回の実行委員から9名、新規実行委員の5名、合計14名での運営となりました。

本年は、新型コロナウイルスの影響はなく、当初のスケジュール通りに、(一社)小牧青年会議所、ファシリテーターの会、支え合い協働推進課の担当者による三者会議を6回、実行委員会を5回開催させていただき、市民討議会の趣旨、目的を共有するとともに、アイスブレイクの方法など企画、当日シナリオ、役割分担等を決めました。

メインファシリテーター、テーブルファシリテーターなど、当日の運営を実行委員の皆様に担っていただき、小牧青年会議所、支え合い協働推進課はバックアップに回ることで、市民によるまちづくりのイメージを明確にし、市民が作り上げているという意識を醸成させることで、まちづくりへの市民参画の意識をより高めることができました。

ファシリテーターの会や新規実行委員の皆様には、お忙しい中5回に及ぶ実行委員会にご参加いただき、会議を重ねることで、市民討議会開催まで進めることが出来ました。

なお、ファシリテーターの会、実行委員会の皆様にはボランティアで参加していただき、謝礼等はお支払いしておりません。

(4) 今後の市民討議会のあり方について

公募ではなく市内全域から無作為抽出により参加者を募り、参加者の皆様に討議していただくということはとても意義のある機会の提供であると感じており今後も継続して行うべき事業だと

思います。

2012年から2021年までの10回の討議会には参加者に謝礼をお渡ししておりましたが、昨年からの費用面での負担軽減や今後の事業の継続可能性の観点から、謝礼の支払いを取りやめさせていただきました。本年も謝礼の支払はしていませんが、例年と遜色ない人数の市民の皆様にご参加いただくことができました。謝礼がなくとも、案内を送る市民の数を増やすことや、テーマの選定を工夫することで、参加者を確保することが可能です。

また、テーマについて多くの市民の方に興味をもっていただきやすいように、また参加者が様々な切り口から具体的な意見を出しやすいように、「20年後の小牧を造ろう！～君のアイデアを形にしよう～」という広いテーマを掲げさせていただきました。本年は参加案内を18歳から16歳に引き下げたこともあり、若い年代の参加者が多かったです。活発な討議はできましたが、最終的なグループ発表が似たような内容になってしまったので、次年度以降は、テーマを具体化し、討議する課題の幅を狭めたほうが、討議がしやすく、さらに会が盛り上がる可能性があると思います。

なお、本年からコロナ禍前と同様にB紙をテーブルに置いて、参加者自らが意見を出しながら付箋を貼る運営方法をとらせていただきました。より充実した、楽しい雰囲気での討議会が実現できたと思います。

7 こまき市民討議会を終えて

こまき市民討議会実行委員会 委員長 立川 雅哉

2回目の実行委員長という立場での開催でしたが、実行委員の皆さん、小牧青年会議所、小牧市支え合い協働推進課の皆様のおかげで大役を全う出来ました。今回は、実行委員会に企画から任せていただき、参加者にまちづくりの楽しさを知ってもらうにはどうすればいいのかを考えながら、進めていきました。本番前のシミュレーションでは、なかなかうまくいかず心配になることもありましたが、本番では参加者の皆さんに、楽しく参加いただけたのかと感じています。今回参加した人の中にまちづくりに興味を持ち、小牧市を良くしてくれる方が1人でも生まれてくれれば嬉しいです。開催当日の話になりますが、普段は先生をされている参加者の方が最後の発表の時に「今日出た様々な意見を持ち帰り、生徒にフィードバックする。」と仰っていて、参加した人が家族や友達と話し、まちづくりの輪が広がっていってくれればいいなと思いました。良かった点や改善した方がいい点などありましたが、結果として大成功で終わることが出来たこと、参加者の方たちを満足させられることが出来たことが自分自身の成長にも繋げることができました。

本当にありがとうございました。



▲立川委員長



▲メインファシリテーター

討議、発表の様子



8 会場の様子

会場全体



一般社団法人小牧青年会議所 理事長 名和 俊 よりあいさつ



皆様、改めましておはようございます。

ただいまご紹介に預かりました、私は（一社）小牧青年会議所、本年度理事長の職をお預かりしております名和俊と申します。どうぞよろしくお願いいたします。まずは本日参加いただきました皆様、土曜日早朝からのご参加誠にありがとうございます。そして、ご設営を頂きました実行委員会の皆様、ファシリテーターの会の皆様、小牧市支え合い協働推進課の皆様ありがとうございました。この市民討議会は本年で12回目の開催となります。この市民討議

会という形はドイツの市民討議会をモチーフとして作られたと聞いております。ドイツでは4日間開催すると聞いていますが、私たちは1日で開催させていただきます。趣旨としましては市民の住民自治意識の向上、サイレントマジョリティー声なき声を拾い上げるという趣旨で開催されております。今回のテーマは20年後の小牧を造ろうと聞いております。ぜひ、ここにいる皆様で自分たちの住み暮らす小牧がどうしたら素敵な未来になるか、意味のある討議ができることを期待しております。結びとなりますが、本日頂いた意見をここだけにしておくのではなく今後家庭や地域社会に取り入れ、少しでも小牧が良くなることをご祈念申し上げまして、私からのあいさつと代えさせていただきます。本日は、長丁場となりますが、一日どうぞよろしくお願いいたします。

山下史守朗小牧市長よりあいさつ



皆様、おはようございます。

ただいまご紹介に預かりました、市長の山下でございます。本日は、こまき市民討議会まちづくりミーティング2023に、多くの皆様にご参加賜りましたことを、私からも感謝御礼申し上げます。

(一社)小牧青年会議所名和理事長からお話もありましたように、この市民討議会12回目となります。市長に就任して12年と半年になりまして、(一社)小牧青年会議所からご提案いただき、市民の皆様からご意見を頂戴して課題解決に向けて力をお借りしながら共に活動していくきっかけ作りということで開催していただいております。(一社)小牧青年会議所と小牧市と協定を結んで開催をしてきていますが、途中から市民討議会に参加いただいた方からファシリテーターの会ができ、一緒に進めています。今スタッフのTシャツを着ている方も市民の皆様でありますし、ハロウィンで飾りつけもしていただいて柔らかい雰囲気の中で討議していただければと思います。三者の連携の中で開催してきていますが、行政も得意不得意がありまして、小牧市主催で開催しますと固くなってしまいますし、参加される皆様も構えてしまって意見をしづらいこともあるかと思いますが、(一社)小牧青年会議所と連携して行っております。無作為抽出で参加者を募っております、手上げ式だとどうしても参加する方が偏ってしまうこともありますので、無作為で募集をしています。今まで参加したことがなかった方にも毎年参加してよかったという声いただける会ですので皆様にとって有意義な会になることを期待しています。20年後の小牧ということで最近ではデジタル化を市でも進めていますが数年後にはAIが人の知能を上回ると言われていて危険性も指摘されています。ですが、うまく使っていけば社会をより良くするようになると思います。10年後の未来もなかなか見通せないスピードの早い時代だと感じます。その中で20年後の小牧ということでぜひ、皆さんに有意義な話をして頂きたいです。この市民討議会は行政への注文ではないです。出た意見は報告書で確認させていただきますが反映できるところは反映していきたいと思っております。ですが行政だけではまちはよくなるので市民の皆様と連携していかなくてはいけないので、他人事ではなく自分事としてまちの事を考えていただければと思います。ざっくばらんに楽しく討議をしていただければと思います。最後に(一社)小牧青年会議所そしてファシリテーターの会の皆様に感謝申し上げます。本日はどうぞよろしくお願い申し上げます。



参加者の皆様ありがとうございました！